

令和2年1月24日

報道機関 各位

東北大学大学院教育学研究科

シンポジウム “東日本大震災後の子どもたちへの支援” ～心理士からみた震災～

東日本大震災から9年目を迎えようとしています。東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室“S-チル”では、震災後の被災地で子ども支援を行ってきた心理士の皆さまに、活動にあたって、何を迷い、何に困り、何を目指して支援を続けてきたのか、それぞれのご苦労や思いについてお話を伺いたいと思います。

つきましては市民の皆様に広く周知していただくとともに、当日はご取材の上、紙面、番組等でご紹介くださいますようお願いいたします。

記

日時：令和2年2月22（土）13時～16時（受付開始12時30分）
場所：東北大学川内北キャンパスマルチメディア教育研究棟6階大ホール
（仙台市青葉区川内）

講演者：社会福祉法人大洋会 児童家庭支援センター大洋
支援相談員兼心理療法士 大和田綾子氏
臨床心理士 二井奏子氏
臨床心理士 鈴木正貴氏

対象者：テーマに関心のある方はどなたでも

参加申込方法：震災子ども支援室までFAX（022-795-3263）か
メール（s.children@sed.tohoku.ac.jp）で御連絡下さい。
参加無料です。

【開催概要】

1. 日時及び場所

日時 令和2年2月22(土)13時～16時(受付開始12時30分)

場所 東北大学川内北キャンパスマルチメディア教育研究棟6階大ホール
(仙台市青葉区川内)

2. 主催 東北大学教育学研究科震災子ども支援室“S-チル”

3. 概要 東日本大震災後の被災地で子ども支援を行ってきた心理士の皆さまに、活動にあたって、何を迷い、何に困り、何を目指して支援を続けてきたのか、それぞれのご苦労や思いについてお話を伺いたいと思います。

4. 講演 報告1「活動を通して見えた、子どもの変化から感じること」 社会福祉法人大洋会 児童家庭支援センター大洋 支援相談員兼心理療法士 大和田綾子氏

報告2「震災後の乳幼児健診における心理支援活動」
臨床心理士 二井奏子氏

報告3「東日本大震災発災後から現在までの、子どもたちへの支援を通して得られた気づき～現地のスクールカウンセラーの立場から～」
臨床心理士 鈴木正貴氏

5. 対象者 テーマに関心のある方はどなたでも

6. 参加申込方法 震災子ども支援室までFAX(022-795-3263)かメール(s.children@sed.tohoku.ac.jp)で御連絡下さい。 参加無料です。

【問い合わせ先】

東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室“S-チル”

TEL&FAX : 022-795-3263

URL : <http://www.sed.tohoku.ac.jp/~s-children/>